

桜溪

芳井中

12月号

令和元年
12月13日発行
文責 東 恵子

2学期、生徒たちは、体育大会、文化祭と大きな行事に、みごとに全力で取り組み、共に活動した仲間と、更に絆を深め、達成感や、成就感を味わいました。学習面でも、どの授業にも落ち着いて取り組み、学習が深まっています。

年末年始のお休みがやって来ます。ご家族で、ゆっくり顔を見ながら、会話を楽しむことができますとよいと思っております。

ガニ大統領が讃えた「最も勇敢な男」

戦乱と干ばつによる混乱が続くアフガニスタンで、35年にわたり人道支援に取り組んできた「ペルシャワール会」現地代表の医師中村哲さんが、12月4日凶弾に倒れました。

多くの人々がその偉業を讃えると同時に悲しみに包まれています。

向こう側に立って見る

——少量の高価な薬での治療よりも、井戸や水路を作る理由は——

現地は感染症で亡くなるケースが非常に多く、その背後に栄養失調による抵抗力の低下があります。殆どが自給自足の農民ですから、水がないということは食べ物が作れず、飢餓を意味します。きれいな飲み水と農業用水を確保することで、かなりの人を助けることができます。

——水路はコンクリートではなく江戸時代の伝統的工法を採用したことについては——

コンクリートが決して悪いわけではありません。しかし後の水路の管理を考え、アフガニスタンの事情にあったアプローチをしなければ、助けになりません。「国際支援」一般に足りないものは、この現地から見る視点です。

ペルシャワール会 中村哲医師に聞く。共に生きるための憲法と人道支援 より

クラス人権標語

世界で一つ その個性

それが自分のいいところ

1年 A組

Respect Others

〜だから私達は認め合う〜

2年 A組

「こっちにおいで」 同じ人間として

一人一人の存在を認め、幸せに

3年 A組



クラスの思いを伝える

各クラスは人権標語についての思いを発表しました。3年生は代表者が原稿を覚えて発表し、また、全員の声で伝える場面もあり、大変立派でした。各学年の代表による作文は、人権尊重の意識の高さがうかがわれ、人の痛みを自分事として捉え、深く考えた発表に感動しました。

学びを自分の言葉で発表 12月12日(木)人権擁護人権集会 委員の方々をお招きし、開催しました。11月の芳井中人権月間における、朝読、道徳、学活、総合の時間などでの様々な学びを全体で共有し、更に人権に対する意識を高め合いました。

校内外での教育活動



11月29日 球技大会



11月14日
3年生薬物乱用防止教室



12月8日 井原市駅伝競走大会
中学校の部 男子準優勝